

# 平成24年度 猪名川町・中学校 学習到達度調査の結果について

猪名川町教育委員会学校教育課

## ■調査目的

- 猪名川町中学校生徒の学習状況を調査し、領域、観点、基礎・活用および小問ごとにその結果を示すことにより、学習指導上の問題点および改善点を明らかにする。

## ■調査内容

- 調査の目的に基づき、学習指導要領に定める内容のうち、ペーパーテストで調査を行うことが適当なものについて学力調査を実施した。

## ■調査対象

- 町内の公立中学校第2学年の生徒
- 調査対象教科は、国語・数学・英語

## ■調査日

- 平成24年4月17日（火）

## ■調査結果

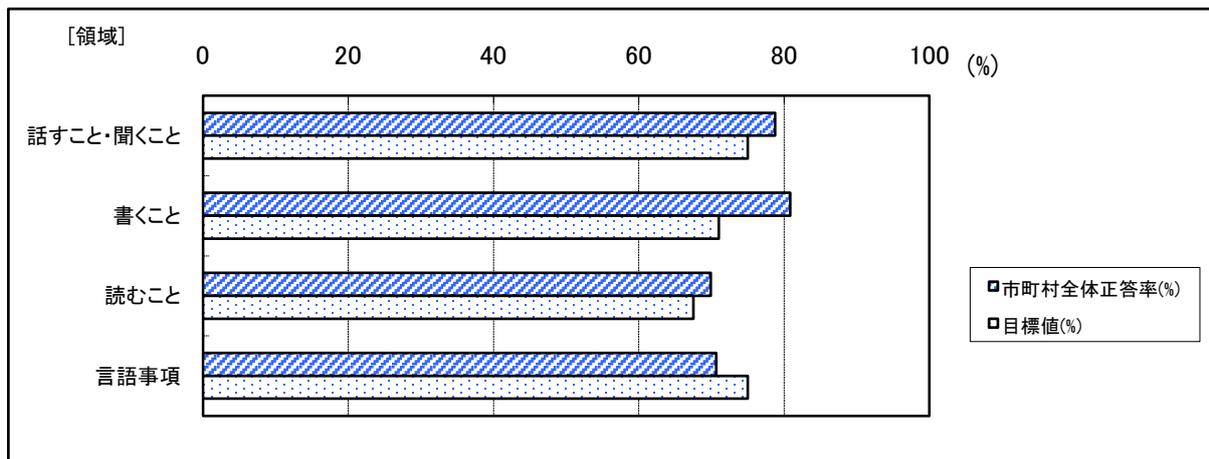
### 【中学校の調査結果】

		猪名川町正答率	目標値	全国正答率
中学校 第2学年	国語	73.1	71.9	69.1
	数学	68.9	63.4	61.4
	英語[B]	78.4	70.6	74.2

## ■中学校第2学年【国語】

### (1) 領域別正答率

	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	
市町村全体正答率(%)	78.7	80.8	69.9	70.7	
目標値(%)	75.0	71.0	67.5	75.0	
目標値との差	3.7	9.8	2.4	▲4.3	



★ 話すこと・聞くこと、書くこと、読むことについては、目標値を上回っていて良好であるが、言語事項は、下回っていて課題が見られる。

① 領域別に見ると、書くことが80.8%の正答率で非常に高い。目標値71.0%を10ポイントも上回っており、かなり良好である。作文問題と新聞の見出しを書かせる問題があったが、主は作文であった。字数、形式、段落構成、内容面からの条件が設定された作文で、総ての条件をクリアし目標値を大きく上回っていた。日常学習活動の成果が現れていると評価できる。

② 言語事項については、目標値を4.3ポイント下回っている。

小学校や中学1年次に履修した漢字の書き取りと、漢字の部首について、文の構造についての理解、話し言葉と書き言葉についての理解が出来ていない。修飾・被修飾の関係は昨年も正答率が低かった。正答率が5割を切っている。漢字の部首については、66.1%の正答で昨年より10.5ポイント改善されている。

漢字指導は単に文字を練習するのではなく、文の中で習得する、意味を捉えながら覚える等日常のドリルが大切と思われる。文の構成の指導に当たっては、まず文の成分を確認する必要がある。文節に分けたのち単語に分けながら、それぞれの単語の性質や修飾の関係について理解させることが大切である。

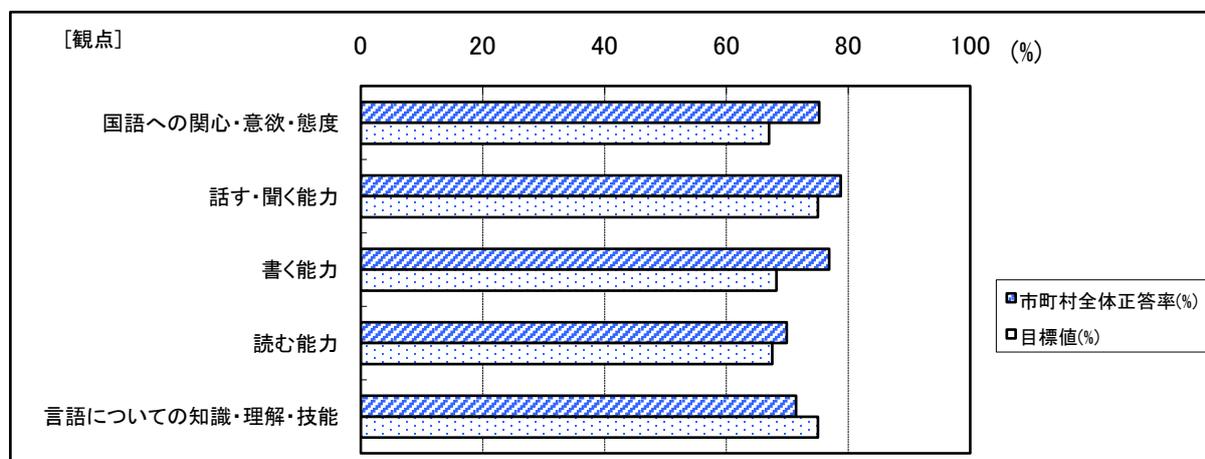
③ 話すこと・聞くこと及び読むことの領域も、目標値を上回っており良好な状況にある。

授業で使うノートについての討論会で、話の内容を聞き取ることは80%以上の生徒が良く理解できている。しかし、司会者の立場での「話し言葉」の使い方が51.2%と半数程度である。話題をきちんと捉え、主体的に話し合いに参加することができるようになりたい。

また、読む領域では説明文・物語文・学校新聞を読む問題であったが、7割の正答率であり、目標値を超えており良好である。文学作品の読みは、登場人物の心情を読み取ったり、場面の展開をよく理解していることが分る。新聞記事の見出し文を作る記述問題で、正答率が37.2%で、目標値を下回っているのは課題である。新聞記事の読み取りは、いつ・誰が・どこで・何を・どうしたのかを押さえ、記事の中でどこを強調しているのか明らかにして読み取ることが大切と思われる。

## (2) 観点別正答率

	国語への関 心・意欲・態 度	話す・聞く能 力	書く能力	読む能力	言語について の知識・理 解・技能
市町村全体正答率(%)	75.2	78.7	76.9	69.9	71.4
目標値(%)	67.0	75.0	68.2	67.5	75.0
目標値との差	8.2	3.7	8.7	2.4	▲3.6

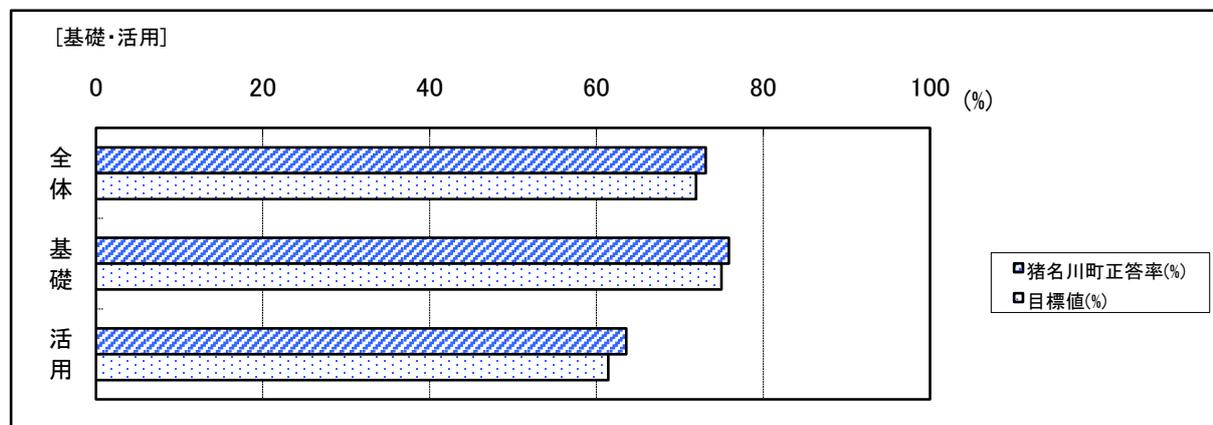


★ 言語についての知識・理解・技能については、目標値より下回っているが、それ以外は、上回っていて良好な状況である。

① 観点別での国語への興味関心・意欲・態度については、小学校同様ペーパーテストで評価することは難しいが、生徒の身近な題材を取り上げて評価した。ノートや鉛筆を題材にした聞き取り問題や作文を出題してみたが、正答率75.2%で目標値より8.2ポイント高く、かなり意欲的に取り組んでいることが分った。

### (3) 基礎・活用別正答率

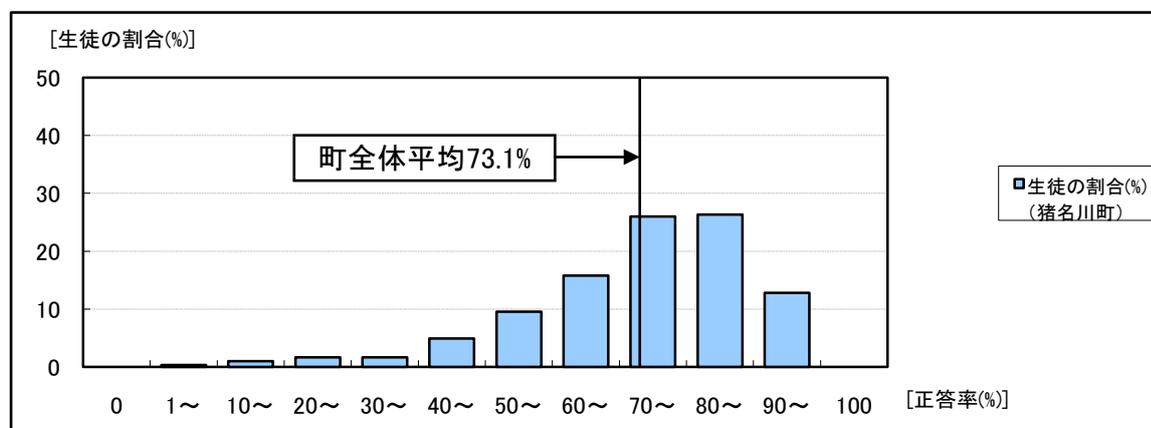
	全体	基礎	活用
猪名川町正答率(%)	73.1	75.9	63.6
目標値(%)	71.9	75.0	61.4
目標値との差	1.2	0.9	2.2



★基礎・活用問題共に目標値をうわまわっており、良好な状況にある。

### (4) 正答率度数分布

正答率	0	1~	10~	20~	30~	40~	50~	60~	70~	80~	90~	100
生徒の割合(%) (猪名川町)	0.0	0.3	1.0	1.6	1.6	4.9	9.5	15.8	26.0	26.3	12.8	0.0

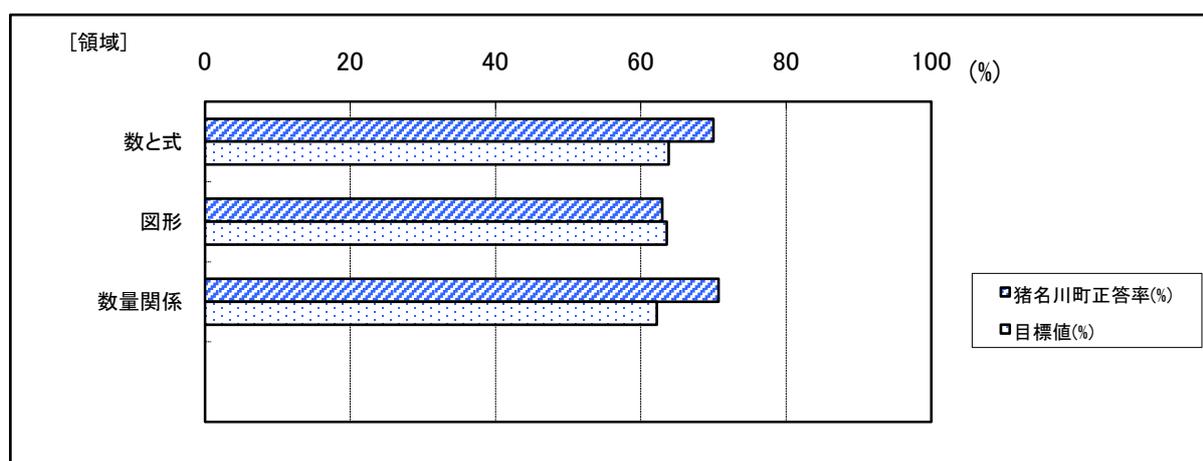


★80%以上の正答率の生徒が39.1%と4割近く占めており良好である。  
逆に50%以下の正答率の生徒は9.4%である。

## ■中学校第2学年【数学】

### (1) 領域別正答率

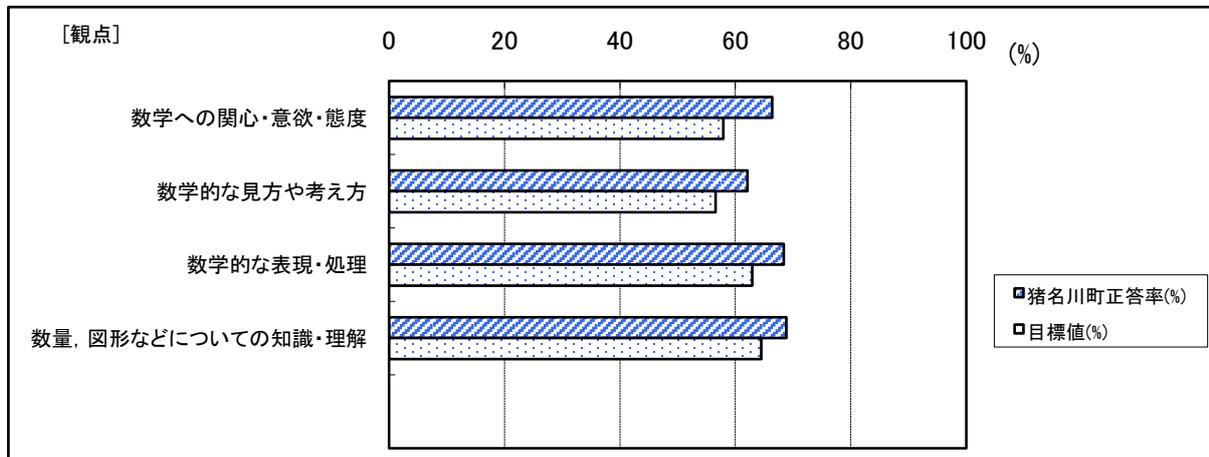
	数と式	図形	数量関係		
猪名川町正答率(%)	70.0	63.0	70.7		
目標値(%)	63.9	63.6	62.2		
目標値との差	6.1	▲0.6	8.5		



★領域別に見て、「数と式」「数量関係」は大きく目標値を超え良好である。「図形」が若干目標値を下回っているので、課題を残した問題について検証したい。  
 正六角計の線対称の意味を理解している生徒が6割弱であること、球の体積を求める問題では正答が17.4%と非常に低いことは課題である。球の体積は、新指導要領で1年生での履修に移行した内容であい定着していない可能性がある。  
 問題分析の項で、大問12「平面図形」大問13「空間図形」を取り上げているので、今後の指導についての参考になればと考える。

## (2) 観点別正答率

	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な表現・処理	数量，図形などについての知識・理解	
猪名川町正答率(%)	66.4	62.1	68.4	68.8	
目標値(%)	57.9	56.6	62.9	64.5	
目標値との差	8.5	5.5	5.5	4.3	

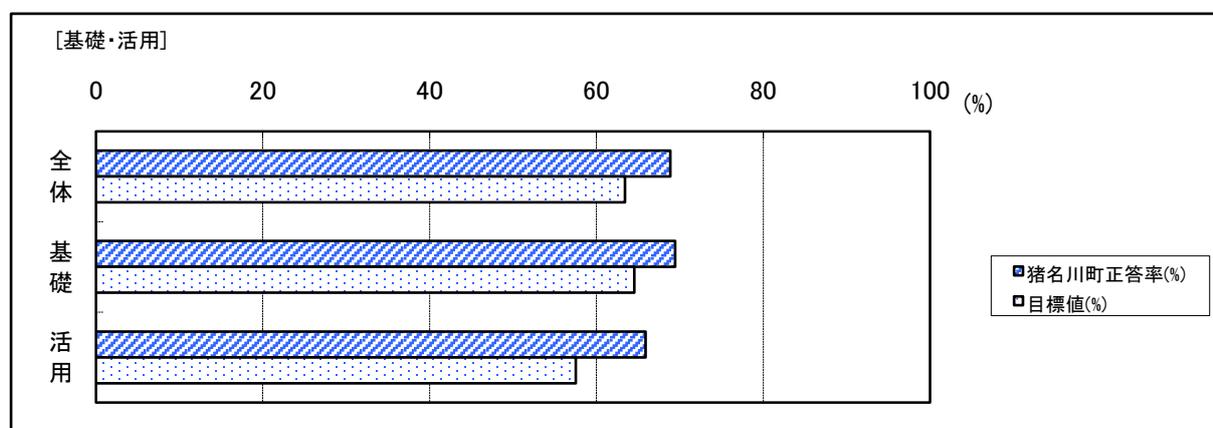


★総ての観点からみて、目標値を上回っており良好である。

- ①数学への関心・意欲・態度についてのペーパーテストは難しいが、身近な題材を用いた問題を出題することで評価した。切手やケーキを題材にした一次方程式の活用問題や、ポップコーンを作る機械の比例・反比例の問題などであった。町全体の正答率は66.4%で、目標値を8.5ポイント上回っている。どの問題も無解答が10%以下であり、問題に対して意欲的に取り組む姿勢がうかがえる。
- ②数学的な見方や考え方については、目標値56.6%に対して62.1%と5.5ポイント上回り良好である。一次方程式のXが何を表すかを問う記述式の問題では、目標値と並で全国平均よりかなり良好だが、昨年より10%ほど低くなったのは気掛かりである。
- ③数学的な表現・処理の正答率68.4%、数量図形などについての知識・理解の正答率は68.8%と共に7割近くで目標値を大きく上回り良好である。図形領域に限った問題では課題も見えたが、図形を含めた多領域での知識・理解では目標値を大きく上回っている。基本的な正負の数、文字式の計算、大小関係を不等式で表す問題など数学的に表現処理する力はあると思われる。知識理解の中で、「以下」「未満」の混同が見られた。また、「絶対値」を問う問題で正答率が5割を切っているのは課題である。「絶対値」や「～以下」といった用語の意味を確認するとともに、実際に数直線に書き込むなどして理解を図りたい。

### (3) 基礎・活用別正答率

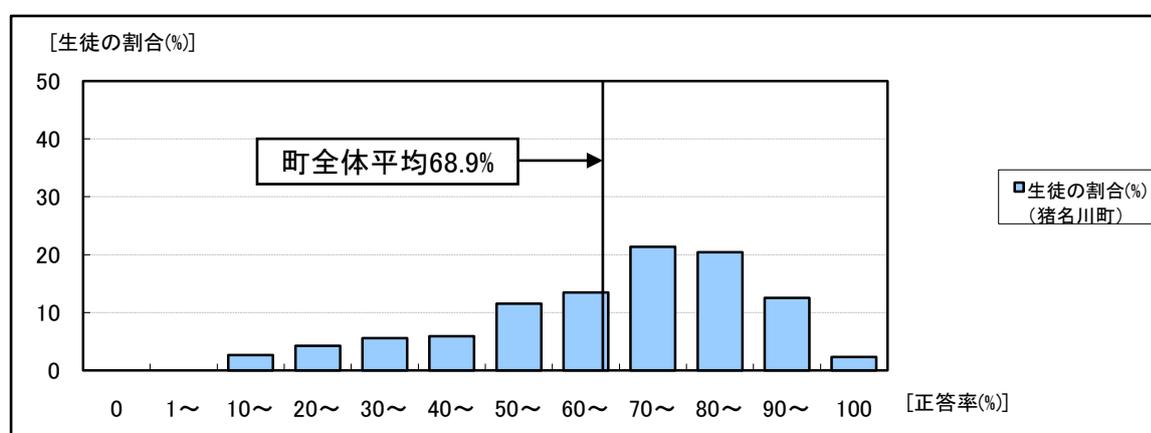
	全体	基礎	活用
猪名川町正答率(%)	68.9	69.4	65.9
目標値(%)	63.4	64.5	57.5
目標値との差	5.5	4.9	8.4



★基礎活用別にみると、ともに目標値を上回っているが、特に活用問題では8.4ポイントも上回っており非常に良好である。

### (4) 正答率度数分布

正答率	0	1~	10~	20~	30~	40~	50~	60~	70~	80~	90~	100
生徒の割合(%) (猪名川町)	0.0	0.0	2.6	4.3	5.6	5.9	11.5	13.5	21.4	20.4	12.5	2.3

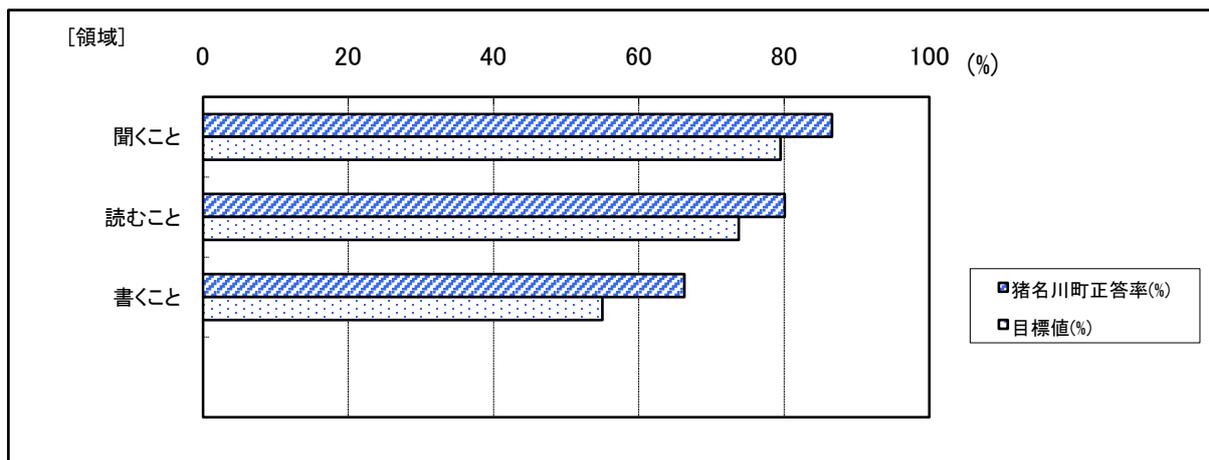


★町全体では正答率80%以上の生徒が35.2%占めている。昨年は41.5%であったが6.3ポイント減少した。昨年の正答率が70.2%だったので、今年の68.9%は気掛かりである。正答率50%未満の生徒は、昨年同様18.4%であった。

## ■中学校第2学年【英語[B]】

### (1) 領域別正答率

	聞くこと	読むこと	書くこと		
猪名川町正答率(%)	86.6	80.1	66.3		
目標値(%)	79.5	73.8	55.0		
目標値との差	7.1	6.3	11.3		



★領域の中で「話すこと」の領域はペーパーテストでの評価は難しく除いた。あとの領域はすべて目標値を上回り良好である。

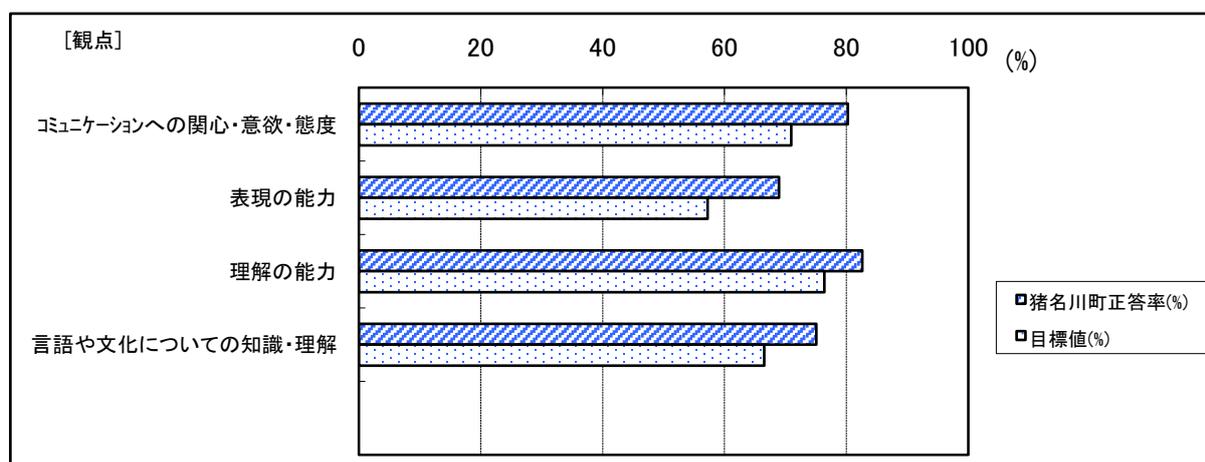
①聞くことの領域では、正答率86.6%で目標値79.5%を7.1ポイント上回り良好である。ただ、現在の時刻を尋ねる問題で「ten thirty」を「ten thirteen」と誤答した生徒が1割存在した。時刻の聞き取りは日常生活に直結して重要である。他に似通った数字の「fifty」「fifteen」など間違いやすいものが多いので、会話表現で時刻や年齢、頁等の数字を扱っている場合を取り上げ、耳慣れる様にしたい。

②読むことの領域では、正答率80.1%で目標値73.8%を6.3ポイント上回り良好である。会話文を読み「What is Tom doing」の質問に正答したのは50%で、無解答が12.8%と多かった。誤答に「He～」ではなく「I'm reading～」としたのが5.6%あった。また「No～」「Yes～」を使った答えをしたものが4.3%あった。Yes、Noで答える質問と、What Whoなど疑問詞で始まる質問については、区別して答えられるよう、訓練していきたい。教科書の内容についてのきちんとした理解をしているか、簡単な英語による質問を使って確認するのも良い。

③書くことについては目標値55.0%に対して、町全体で66.3%と11.3ポイント大きく上回り良好である。整序英作文は、目標値を上回ってはいるが、他の作文問題よりも59.9%と少し低い正答率になっている。また、S+V+O+副詞句の文は、ある程度決まった型があるので単語を変更するなどして、その型ごと覚えさせるようにしたい。

## (2) 観点別正答率

	コミュニケーションへの 関心・意欲・ 態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化に ついての知 識・理解	
猪名川町正答率(%)	80.2	68.9	82.6	75.0	
目標値(%)	70.9	57.2	76.4	66.5	
目標値との差	9.3	11.7	6.2	8.5	

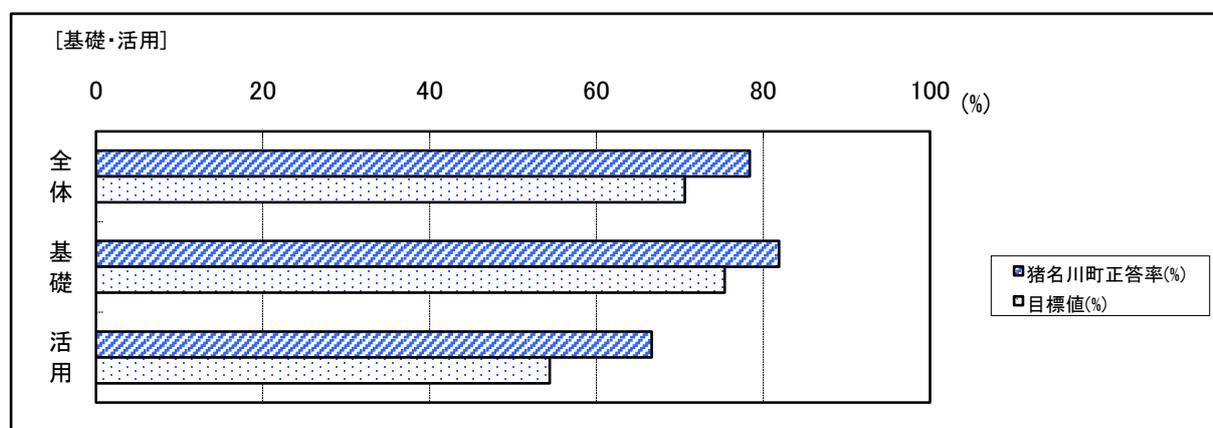


★どの観点から見ても、目標値を上回っており、良好である。

- ①コミュニケーションへの関心・意欲・態度についての正答率は80.2%で目標値を9.3ポイント上回っている。敢えて、課題を挙げれば疑問文の英作文の無解答が13.8%～15.5%あったことである。疑問文など決まった形のは、繰り返し指導して身につけさせたい。
- ②表現の能力では目標値57.2%に対して68.9%と11.7ポイント上回っている。3語以上使って英文を書かせる問題での留意点を徹底させたい。単に単語を連ねる事ではなく、語順・人称・スペルなど注意していきたい。自分の言葉で文を書いて、相手にきちんと伝えるには正確な表現が欠かせない。留意点を押さえつつ、慣用句や簡単な文を書かせるなど丁寧な指導が望まれる。
- ③理解の能力も82.6%の正答率で、目標値を6.2ポイント上回り良好である。英文を理解するには、正確な聞き取りが必要不可欠である。特に時間・曜日、数字など正確に聞き取り伝えたりすることは、日常生活に於いても重要である。授業の中で生徒同士の会話場面を増やしたり、またALTに積極的に話しかけたり、正確に伝えたいことを聞き取れるようにしたい。
- ④言語や文化についての知識・理解も正答率75.0%で目標値66.5%を大きく上回り、大変良好な状況にある。慣用表現や疑問文など、何度も繰り返し使うと、自然と身についてくる。授業の冒頭やまとめに音読させたり書かせたりして、より定着させたい。

### (3) 基礎・活用別正答率

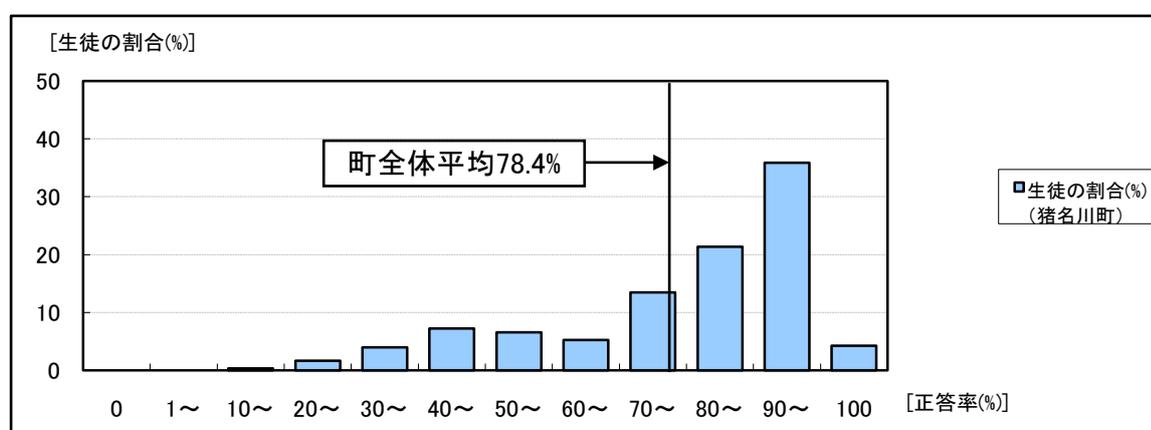
	全体	基礎	活用
猪名川町正答率(%)	78.4	81.9	66.6
目標値(%)	70.6	75.4	54.4
目標値との差	7.8	6.5	12.2



★基礎活用問題別の正答率は、ともに目標値を上回っている。特に活用問題では目標値を12.2ポイントも上回り良好である。問題内容は、ある曜日の予定をリスニングで聞き取りできているか？尋ねたり、伝えたりする英作文と条件指定の自由作文であった。

### (4) 正答率度数分布

正答率	0	1~	10~	20~	30~	40~	50~	60~	70~	80~	90~	100
生徒の割合(%) (猪名川町)	0.0	0.0	0.3	1.6	3.9	7.2	6.6	5.3	13.5	21.4	35.9	4.3



★町全体の正答率は78.4%で目標値70.6%を7.8ポイント上回り良好である。正答率80%以上の生徒が61.6%を占める一方で、50%未満の生徒が13.0%と昨年の7.8%よりも倍増してしまった。